

学校だより

No. 12 令和7年9月5日

有田小 HP の

QR コードは

こちらです。



とうざん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一

夏休み作品展を実施しています

2学期が始まり、早いもので2週間が過ぎました。子どもたちも少しずつ学校生活のリズムを取り戻し、元気に学習や活動に取り組んでいます。

夏休み中は、ご家庭でさまざまな体験ができたことだと思います。何人かの子どもたちからは、楽しかった思い出を聞くことができました。また、夏休みの宿題等へのご家庭でのご協力に感謝いたします。現在、子どもたちが意欲的に取り組んだ作品を、児童玄関のアートギャラリーに展示しています。また、理科室前には自由研究を展示しています。来校された際には、ぜひご覧ください（～9月12日）。



子どもたちが家庭で夏休みの宿題等を頑張っているとき、学校では教職員もそれぞれの専門性を高めるために、多くの研修に取り組みました。

よりよい学級づくりのための「学級経営研修」、子どもたちの変化を見逃さないための「いじめ防止研修」「教育相談研修」「Q-U研修」、教師の授業力や児童の学力向上のための「ICT研修」「外国語（活動）研修」「学力向上対策研修」、人権意識を高めるための「人権・同和教育研修」、不祥事を防止するための「服務研修」など……、他にも全職員で実施した研修、個人で取り組んだ研修もあります。

このように、夏休みは教職員にとっても「学びの時間」です。2学期は、これらの研修で得たことを生かしながら、よりよい教育活動を展開していきたいと思っています。

9月の全校朝会は…

9月2日の全校朝会では、本校の特別支援教育コーディネーターである武田先生が、「なかよし学級」と「まなびの教室」について話をしました。少し長くなりますが、武田先生が話した内容をお伝えします。

（校長からの話もあったのですが、今回は省略します。）

「なかよし学級」って、何をするとところですか？「学びの教室」って、なぜあるの？と、よく尋ねられます。なぜ、「なかよし学級」や「まなびの教室」があるのでしょうか。それは、一人一人が違うからです。

みんな、トマトは、好きですか？好きな人もいれば、嫌いな人もいますよね。目が見えにくい人は、眼鏡をかけますね。「おしゃれしてずるい」って思いませんか。おなかに赤ちゃんのいる女の人は、席を譲ってもらって「いいなあ、自分ばかりずるいなあ」とも言いませんか。算数は好きですか？算数は得意なのに、漢字は全然覚えられないという人もいますね。その反対に、国語は楽しく勉強できるのに、算数は分からないことがあって苦手だなあという人もいますよね。

Aさんは、給食が苦手です。だから給食時間になると、暗い気持ちになります。でも、かけっことは得意で、運動会では大活躍をします。Bさんは、絵を描くのが苦手です。どう描けばいいのか、分かりません。でも、挨拶は上手です。誰にでも自分から気持ちのよい挨拶ができます。Cさんは、算数が苦手です。数字を見るとドキドキします。でも、お話をするのは上手です。友達の前でも、大人の前でもハキハキと発表することができます。今、紹介したこの3人の中で、誰がすばらしいと思いますか？Aさんも、Bさんも、Cさんも、すてきですね。3人とも苦手なことがあります。そして、得意なこともあります。一人一人顔が違うように、苦手なことも得意なことも違います。だからこそ、面白いと思いませんか？『みんな違って、みんないい』ですね。

…「得意なことは違うよ」（体験）…

一人一人苦手なことも得意なことも違うから、勉強の仕方も人それぞれ違います。みんなと一緒に勉強すると友達の考えを知ることができますね。「面白いなあ」と思ったり、自分の考えを聞いてもらって「うれしい」気持ちになったりしますね。みんなと一緒にだと楽しく勉強できる人は多いでしょう。でも、先生と1対1で勉強するほうがしっかし頭に入るとい

（裏面に続く）

う友達もいます。静かな教室で先生の話をしっかり聞くことができるからです。また、一人だと自分の考えが言いやすいからです。2～4人ぐらいの少人数での学習が合うという友達もいます。勉強はその人に合ったやり方でするのが一番大切です。その人に合ったやり方なら、どれもよい方法なのです。「なかよし学級」の友達は得意なことと苦手なことの差が大きくて学校で困ってしまうことがあるので、「なかよし学級」へ勉強をしに行っています。



「なかよし学級」では、どのような学習をしているのでしょうか。「なかよし学級」の子どもたちは、苦手なことがみんなより少し多い人もいます。ですから、みんなと違った内容の学習が必要になってきます。そこで、「なかよし学級」では、「自立活動」という勉強をしています。自分が思っていることをうまく伝えられなかったり、みんなと一緒に上手に行動したりするのが苦手な人が、苦手なことを少しずつできるようになっていく学習です。もちろん、みんなと同じように、机の上で勉強の時間もあります。学習内容が一人ひとり違いますが、自分で何をするか分かっているのも、時間になると席について静かに学習しています。

これまで、一人一人、得意なことも苦手なことも違うという話をしてきました。実は、勉強や運動だけでなく、生活のいろいろな場面で苦手なことがあって困っている人がいます。例えば、暑いのがとても苦手な人がいます。これは、生まれつきなので、努力をしても簡単には治りません。大きな音や声が苦手な人もいます。耳が痛くなったり、具合が悪くなったり、何にもできなくなったり、イライラして怒り出すこともあります。また、慣れない場所ではどうしていいか分からず、不安になってしまう人がいます。その場から動けなくなったり、反対に、その場から突然出てしまったり、うろうろ歩いたり、動き回ったりします。困っている友達がいたら、「だいじょうぶ」「手伝おうか」など、優しく声をかけたり、先生に伝えたりしてください。

「なかよし学級」「まなびの教室」では、静かに学習に取り組んでいます。静かな中だと集中して勉強ができます。ですから、教室や廊下で遊んだり走ったり騒いだり、大声を出したりしないことが大切です。教室や廊下では、静かに落ち着いて過ごしてください。「なかよし学級」や「まなびの教室」でも、みんなと同じように勉強を頑張っています。ですから、「なかよし学級」や「まなびの教室」の友達を応援してくれたら、うれしいです。「お互い、がんばろう」という気持ちで励ましてください。

一人一人が、みんなのよさを見つけ、認め合える有田小学校にしていきたいと思います。

有田小学校の「めざす学校像」の1つに「一人一人が大切にされ、共に学び合う学校」があります。子どもたちには、多少なりとも得意・不得意があり、性格も人それぞれです。教職員は、その子に合った指導や支援を行うとともに、個別最適な学びができるよう日々頑張っているところです。

お互いに相手の立場を理解し、支え合ったり、見守ったりすることができる有田小学校にしていきます。これからも、保護者や地域の皆さんとともに理解し、支え合っていけたらと思います。ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

タイピングタイム

昨年度から、木曜日の朝の時間を活用して、タブレット端末のキーボード操作に慣れるための「タイピングタイム」を実施しています。今週も9月4日(木)にタイピング練習を行いました。ICTは、これからの時代を担う子どもたちにとって欠かせない力のひとつです。タブレット端末を「文房具のひとつ」として使いこなせるよう、今後も継続して取り組んでいきます。



一方で、最近「パソコンが使える若者が増えている」という話題をニュースなどで耳にするようになりました。今の若者世代の中には、スマートフォンやタブレットには慣れていても、パソコンの操作 — 例えば、キーボード入力やマウス操作、ファイルの保存、文書作成、データの整理など — には不慣れな人も多いといわれています。

小学校の段階ですべての操作を身に着けることは難しいかもしれませんが、日常の中で少しずつ操作の機会を増やし、基本的なICTスキルに慣れていけるようにしていきたいと思います。